

---

# 考え込んだ話

ヨルタカ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

考え方込んだ話

### 【NZコード】

N8014Y

### 【作者名】

ヨルタカ

### 【あらすじ】

とある女子生徒の葛藤

## とある女子生徒の家

和室に敷いてある布団がそもそも動きだし、中から腕が伸び、それは携帯を掴み布団に入れると

その中では一人の少女が涙に目を腫らして時間を確認する

時計は2時を過ぎていた

布団にもぐりこんでから2時間も過ぎて居るのに少しだけ驚いたが、布団から出ようとも思えない

外に出たくない、学校に行きたくない、部活に行きたくないそんな思いが自分の頭を支配して動きを鈍らせる

「私なんか…私なんか…」

そういうつま頭を抱えこんで布団にもぐりこむ

彼女は、最近友人との距離を見失っていた

近づけば近づくほど、自分の欲求は際限なく相手にぶつかっていく遠ざけようとすれば、口下手な自分は相手を傷つける

どうすればいいのか、わからなかつた

誰かに言ひ、ということもしたくなかった

そんな風にして誰かの立場を微妙にしたくなかった

「たなの……わがままだ…

自分を責める」としかできなかつた

何も考えずに接すればいい」とくらいにかで分かつて いた  
その程度のこととで誰も嫌わないことくらいにわかつて いた  
それでも自分が嫌だつた

自分の気に食わない発言があればすぐに不愉快な顔をする自分を、  
耳を塞ぐ自分を、嫌わないために別の何かを嫌う自分を…

消えたい消えたい消えたい

このまま、居なくなりたかつた、あの場所から消えてしまいたい  
「んなこと、明日になつたらまた忘れるのだろう、その程度にしか  
考えていない」ともまた…

めんどうでやつだ…私は…

息が荒くなる、髪の毛を摑む力は強くなる

「たなの風に考えるから…考えるから…

考えること事態さえ責めて、それが泥沼に沈んでいくとなる位  
はわかつて いた  
わかつていて 悩むしかできなかつた  
悩んで逃げて責めてを繰り返した

ああ…何もできない、何も変われない、何も何も何も

体も震えてくる

皆みたいになりたい、こんな私は嫌なんだ…こんな風に考へてるから私は私は！

自ら沈めていく、自ら傷ついていく、こんな自分を…誰が…思えば思ひほど、それは自らこのしかかり、また傷つく…

でも…今は…

規則もそれなりに守つていい、部活でも仕事をしていい、こんな自分を誰が責めるだろうか

責めたとしたら、明らかに悪者になる、ソレを望む人間なんて居ない  
もう…それでいい、それだけでいい…

そう思つて、そのままぶたを閉じて眠つてしまおつとしたが、それも叶わないとあった

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8014y/>

---

考え込んだ話

2011年11月23日20時49分発行